

令和6年度（令和5年度実施）  
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
 筆記審査（専門教養）  
 中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
 美術

受審番号		氏名	
------	--	----	--

**【注意事項】**

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

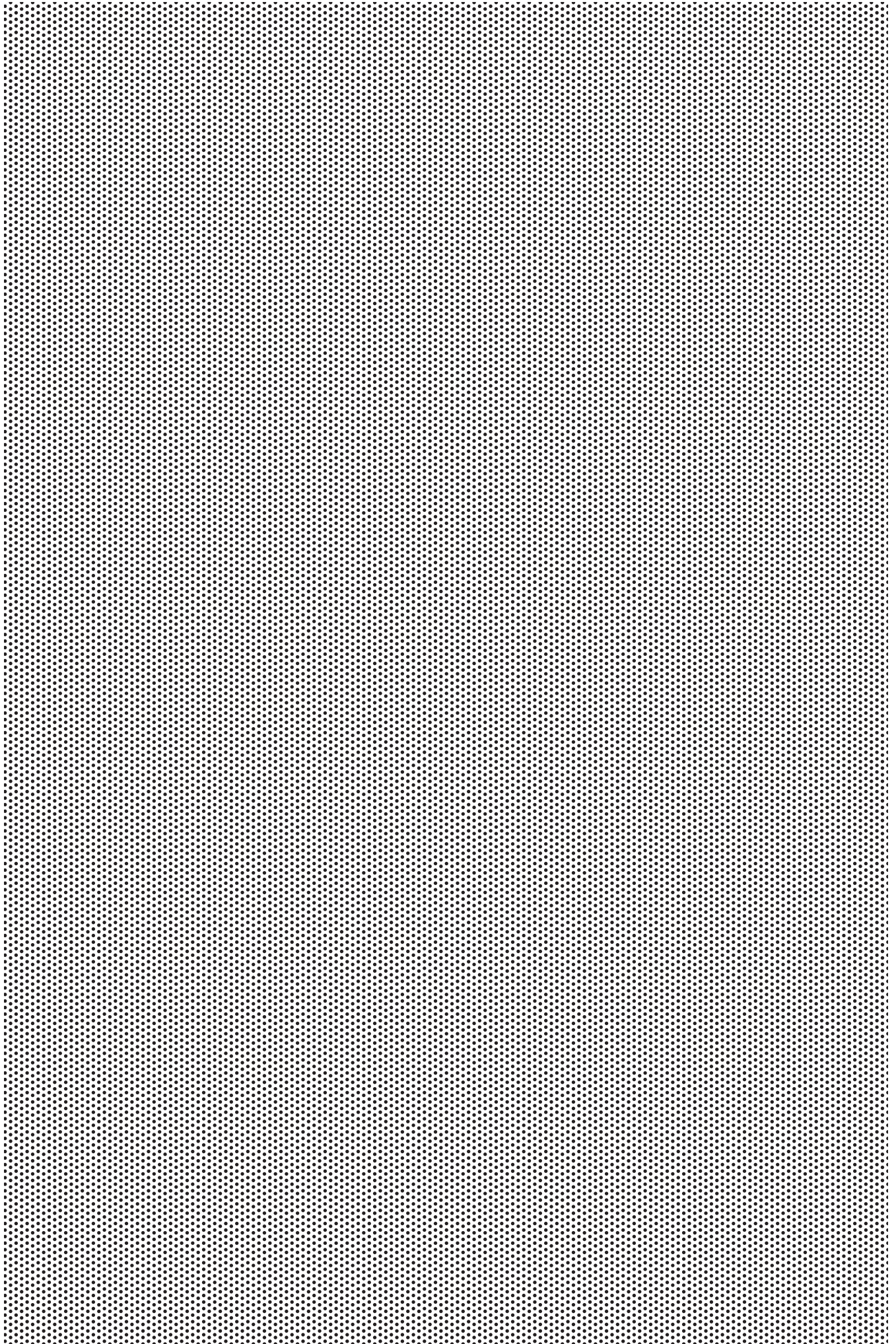
受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



## 【共通問題】

第1問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

(1) 次の作品に使われている「日本画絵の具」の説明として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a 空気中の酸素を取り込んで固まる。乾燥後も描いた時と変わらない光沢が残る。
- b 顔料を絵皿に取り、獣皮などから作られる膠と混ぜて使用する。
- c 水に溶けるアラビアゴムを展色剤に用いており、筆運びを滑らかにするためにグリセリンなどを加えている。
- d 乾燥すると水に溶けず、ガラス、金属などにも描くことができる。

(2) 「重色」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a クレヨンなどで描いた上から絵の具を塗ると、描いた部分が水をはじく。
- b 下の色が乾いてからその上に違う色を塗ると、塗り重ねた部分の色が混ざり合っ  
て見え、新たな色ができる。
- c 画面に絵の具を塗っておき、乾かないうちに別の色をのせる。
- d 乾いた筆に、水の量が少ない絵の具をつけ、かすれたタッチで描く。

(3) 「ハッチング」の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ウ

- a 線を平行に引いたり交差させたりして描く。
- b 絵の具が乾かないうちに塩を撒くと、その部分の色が抜け白い星状の斑点ができる。
- c 輪郭を線ではなく色や明暗の微妙な変化で描く。
- d 様々な色の小さな点を並べて描くことで、離れてみたときに網膜上で混ざって見える。

(4) 「揮発性油」の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

エ

- a 筆を洗うための油、絵の具と混ぜて使用しない。
- b 絵の具の光沢を奪うので、下塗りの他は単独で使用しない。
- c 揮発性油にはリンシード油、ポピー油などがある。
- d 卵などを固着剤として用いる。乾きが速く耐久性に富む。

(5) 「胡粉」の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

オ

- a 風化した牡蠣などの貝殻を粉碎してつくった、白系の顔料。
- b 雲母を砕いてつくった顔料。輝く白系の色。
- c 薄めた膠液を温め、少量のミョウバンを溶かしたもの。
- d 水を使って精製してつくった絵の具。天然土などからつくる。

(6) 「ジェット」の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

カ

- a 粘着性が高いので、重いものを表面に接着することができる。
- b 下地に塗っておくことで、上に重ねる絵の具の発色が良くなったり、絵の具を均一に塗ったりすることができる。
- c 大理石の粉が混ぜられた最も粘度が高いメディウム。絵の具のポリウムを出したり、凹凸をつくったりすることができる。
- d 光沢感を出したり、絵の具を盛り上げたりすることができる。

(7) 水墨画の技法の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

キ

- a 付け立て－紙に水を含ませてからその上に墨を置いていくとにじんだようになる。
- b 破墨－乾いた筆に濃い墨をつけて筆先をばらけさせるとかすれができる。
- c 渴墨－筆全体に水をつけ先端に墨をつけるとぼかしたようなグラデーションができる。
- d 積墨－最初に描いた墨が完全に乾いてから、墨を重ねて描くことによってモチーフの細部や質感などを表現する方法。

(8) 次の作品（一部）に使用されている技法として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。 ク

- a リトグラフ
- b エッチング
- c シルクスクリーン
- d メゾチント

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文中の( A )・( B )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 

ケ
---

19世紀後半、日本の開国をきっかけに、新しい表現を求めているヨーロッパの芸術家たちが日本美術に目をとめた。浮世絵に代表される日本美術の平面的で大胆な構図や色彩、モチーフが、印象派の画家たちに影響を与えた。この現象を( A )と呼ぶ。( B )も日本美術の影響を大きく受け、以下の作品(部分)の背景や衣装などにもそれが表れている。

- |   |   |         |   |          |
|---|---|---------|---|----------|
| a | A | ポスト印象主義 | B | ポール・セザンヌ |
| b | A | ジャポニスム  | B | ポール・セザンヌ |
| c | A | ポスト印象主義 | B | クロード・モネ  |
| d | A | ジャポニスム  | B | クロード・モネ  |

(2) 次の作品を古い順に並べたものとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

①

②

③

④

- a ④→①→②→③  
b ④→②→③→①  
c ①→④→③→②  
d ①→②→④→③

- (3) 次の文中の ( A )・( B ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。 

サ
---

( A ) は、1960年代のアメリカを中心に世界的に見られた美術の様式であり、シンプルな形や色の繰り返しで構成されるのが特徴である。( B ) は、以下の作品のような、単純な線や色面の組み合わせで画面を構成する平面作品などを発表した。

- |   |   |          |   |          |
|---|---|----------|---|----------|
| a | A | ミニマル・アート | B | フランク・ステラ |
| b | A | ミニマル・アート | B | マーク・ロスコ  |
| c | A | 抽象表現主義   | B | フランク・ステラ |
| d | A | 抽象表現主義   | B | マーク・ロスコ  |



第2問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の文中の( A )・( B )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

次の作品は( A )を素材として制作されたオーギュスト・ロダンの( B )作品である。

- |   |        |      |
|---|--------|------|
| a | A 砂岩   | B 塑造 |
| b | A クスノキ | B 彫造 |
| c | A 大理石  | B 彫造 |
| d | A 石膏   | B 塑造 |

(2) 次の文中の( A )・( B )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

立体作品を目の前にすると( A )や( B )、重心などが直接伝わり、絵画などの平面作品とは違った触覚的なイメージが掻き立てられる。また作品が置かれることで空間の印象が大きく変わることがある。

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| a | A 質感 | B 量感  |
| b | A 構図 | B 量感  |
| c | A 質感 | B 装飾美 |
| d | A 構図 | B 装飾美 |

(3) 次の文中の（ ）に該当する語句として最も適切なものを，下の a～d から一つ選びなさい。

設置空間を含めて作品とする表現形式を（ ）という。

- a ランド・アート      b シミュレーションイズム      c コラボレーション  
d インスタレーション

(4) 次の作品で使用されている技法名を，下の a～d から一つ選びなさい。

- a 一木造  
b 脱活乾漆  
c 寄木造  
d 木芯乾漆

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の作品などに見られる手法である「レディ・メイド」の説明として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a 記号などを用い視覚化できない観念などを表現する手法。
- b 木や鉛など物体をあまり加工せずに、素材として組み合わせて提示する表現形式。
- c 既製品から本来の機能を排除し、芸術的な価値を与えて提示する手法。
- d 日常的に目にする記号や象徴をモチーフにしたり引用したりして作品制作を行う。

(2) 次の作品を含む「もの派」の説明として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- a 素材にあまり手を加えずに作品とする。立体的に構成し、見る者に、配置した素材とそれを取り囲む空間を意識させる。
- b 1940年代半ばに起こったヨーロッパにおける美術運動。潜在的な意識から生まれ出るものの表現を試みた。
- c 行為を主な表現形式とし、ハプニングやイベントを展開した。
- d 1954年に結成された前衛芸術グループ。既成概念にとらわれない作家ごとの個性的な表現が特徴。

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文中の( A )～( C )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

色光の三原色である( A )を重ねていくと、より明るくなり、白色光に近づく。これを( B )という。舞台照明や( C )などが代表的な事例である。

- a A RGB B 並置混色 C 印刷物  
 b A RGB B 加法混色 C 花火  
 c A CMY B 減法混色 C 花火  
 d A CMY B 加法混色 C テレビ

(2) 次の文中の( A )～( C )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

( A )は、鮮やかさを図る基準をいう。( B )とともに変化する。例えば、赤に白、黒を混ぜると鮮やかさが失われ、( C )。

- a A 明度 B 色相 C 色味が変化する  
 b A 明度 B 彩度 C 無彩色に近くなる  
 c A 彩度 B 色相 C 彩度が高くなる  
 d A 彩度 B 明度 C 彩度が低くなる

(3) 次の図に見られる配置の法則として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a リピティション    b アクセント    c シンメトリー    d グラデーション

(4) 次のA, Bの書体の名前の組み合わせとして最も適切なものを, 下のa~dから一つ選びなさい。

A

ABCDE

B

あいうえお

- a A サンセリフ体      B 丸ゴシック体
- b A ローマン体        B 細明朝体
- c A ローマン体        B 丸ゴシック体
- d A サンセリフ体      B 細明朝体

(5) 次の説明文を読み, 該当する技法の名称として最も適切なものを, 下のa~dから一つ選びなさい。

静止した物体を少しずつ動かして一コマずつ撮影する方法。それを連続してみると, 動いて見える。

- a ピクシレーション      b メタモルフォーゼ      c キネトスコープ
- d テアトル・オプティーク

2 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

- (1) 次の説明文を読み, ( A )・( B ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを, 下の a～d から一つ選びなさい。 カ

イギリスの思想家ジョン・ラスキンは, 豊かで正しい社会にするため, 中世のクラフトマンシップの復興による健全な社会と工芸のあり方を提案した。その思想に共感し自ら実践に乗り出したのが, ( A ) である。下の写真の壁紙は, ( A ) の制作した布を壁紙用にアレンジしたものである。1861年に始まる ( B ) は, ステンダグラス, 金工, 壁紙, 家具, 調度などに, 美術と工芸の融合を目指すものであった。

- |   |   |              |   |                 |
|---|---|--------------|---|-----------------|
| a | A | フロンク・ロイド・ライト | B | ドイツ工作連盟 (D.W.B) |
| b | A | フロンク・ロイド・ライト | B | バウハウス           |
| c | A | ウィリアム・モリス    | B | アーツ・アンド・クラフツ運動  |
| d | A | ウィリアム・モリス    | B | アール・ヌーヴォー       |

- (2) 次の説明文を読み、該当する作者名とその作品の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

被写体をオブジェのように配置した作品は「演出写真」と呼ばれた。戦後のリアリズム写真運動が盛んな中、新鮮な驚きを持って受け入れられた。

①

②

③

④

- |   | 〈作者名〉 | 〈作品〉 |
|---|-------|------|
| a | 栗林慧   | ①    |
| b | 土門拳   | ②    |
| c | 植田正治  | ③    |
| d | 川内倫子  | ④    |



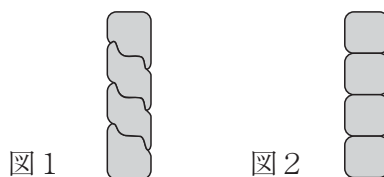
3 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、陶芸のひもづくりによる成形の一部を説明したものである。( A )  
～( C )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから  
一つ選びなさい。

底部の外側に( A ), ひも状の陶土をのせる。

断面図が、以下の( B )のようになるよう重ねて接合する。

( C )を使い、作品の内側をしめる。土ひもを積み上げ、時々、指先で土をしめる。



- |   |   |               |   |    |   |       |
|---|---|---------------|---|----|---|-------|
| a | A | ヘラで傷をつけ、どべを塗り | B | 図1 | C | こて    |
| b | A | ヘラで傷をつけ、どべを塗り | B | 図2 | C | たたき板  |
| c | A | 縁の部分を指でならし    | B | 図2 | C | 成形用かな |
| d | A | 縁の部分を指でならし    | B | 図1 | C | なめし皮  |

- (2) 焼き物の工程のうち、素焼き、および釉薬を溶かし素地を焼き締める際の焼成温度の組み合わせとして最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- |   |     |            |      |            |
|---|-----|------------|------|------------|
| a | 素焼き | 250～450℃   | 焼き締め | 800～1000℃  |
| b | 素焼き | 550～650℃   | 焼き締め | 1000～1200℃ |
| c | 素焼き | 750～850℃   | 焼き締め | 1200～1300℃ |
| d | 素焼き | 1200～1300℃ | 焼き締め | 1800～1900℃ |

(3) 次の工芸品の名称として最も適切なものを，下の a～d から一つ選びなさい。

- a 琉球びんがた    b 大島紬    c 加賀友禅    d 京鹿の子絞

(4) 次の工芸品の名称として最も適切なものを，下の a～d から一つ選びなさい。

- a 大館曲げわっぱ    b 駿河竹千筋細工    c 南木曾ろくろ細工  
d 勝山竹細工

- (5) 次の文は、木材について述べたものである。( )に該当する語句として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

木材は一般的に水分を含んでいて、乾燥させると水を放出して収縮する。板目材の木の中心側の面を( )と呼び、( )の反対側の樹皮側に反る。

- a 木表    b こば    c 木裏    d こぐち

- (6) 次の文は、金属加工について述べたものである。( )に該当する語句として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

金属板は切って曲げたり、たたいてのぼしたり模様をつけたりして、表現することができる。打ち出すときは、金属板の下に、砂袋を敷きいもづちでたたいたり、( )を使ってつちで打ったりする。模様をつけるときは、たがねを使ってつちで打つ。

- a つげごて    b ハトメ    c のみ    d 当て金

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の作品の作者名を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- a アンリ・マティス      b オーギュスト・ルノワール  
c クロード・モネ      d ポール・セザンヌ

(2)

- a 古賀春江      b ジョルジョ・デ・キリコ  
c 中ハシ克シゲ      d アドルフ・ムーロン・カッサンドル

2 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a 富岡鉄斎    b 狩野芳崖    c 竹内栖鳳    d 上村松園

(2)

a 萬鐵五郎    b 速水御舟    c 東山魁夷    d 福田平八郎

3 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a ジャン＝ミシェル・フォロン

b 亀倉雄策

c 粟津潔

d 永井一正

(2)

a ミース・ファン・デル・ローエ

b ポール・ヘニングセン

c ヘリト・トーマス・リートフェルト

d ペーター・ベーレンス

4 次の (1)・(2) の作品の作者名を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

キ

- a アンтони・ガウディ      b ジャン・アルプ  
c ル・コルビュジエ      d ヴァルター・グロピウス

(2)

ク

- a 高村光雲      b オーギュスト・ロダン  
c 三沢厚彦      d 荻原守衛

5 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a 河井寛次郎

b 宮川香山

c バーナード・リーチ

d 濱田庄司

(2)

a 長沢芦雪

b 富本憲吉

c 尾形乾山

d 本阿弥光悦



## 【選択問題 中学校】

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（①）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

（①）活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- a 独創的な表現
- b 美術の創造的な
- c 美術の幅広い創造
- d 表現及び鑑賞の幅広い

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（②）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、（②）態度を養う。

- a 心豊かな生活を創造していく
- b 美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める
- c 感性を育み、楽しく豊かな生活を創造していく
- d 美意識を高め、見方や感じ方を深める

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 2 内容 B 鑑賞」の一部を抜粋したものである。文中の（①）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

ウ

- (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。  
 ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、（①）や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

- a 材料の活かし方
- b 表現技法の選択
- c 主題
- d 作者の心情

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 A 表現」の一部を抜粋したものである。文中の（②）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

エ

- (1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。  
 ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 (ア) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、（②）、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

- a 全体と部分との関係
- b 空間や余白
- c 単純化や省略
- d 構図や配色

- 3 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示） 第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容〔共通事項〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩，材料，光などの性質や，それらが（ ① ）効果などを理解すること。

- a 感情にもたらし
- b 生活や社会を美しく豊かにする
- c 見方や感じ方を広げる
- d 精神的な温かみやくつろぎを与えてくれる

## 【選択問題 高等学校】

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（①）・（②）に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

- (1) 対象や事象を捉える（①）について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。  
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、（②）美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

①

- a 造形的な視点
- b 美術の活動
- c 多様な視点
- d 表現形式の特性

②

- a 尊重する態度を養い
- b 感覚的に感じとって
- c 考えたり批評したりして
- d 価値意識をもって

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

(中略)

(イ) (①), 動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え, 創造的な表現の構想を練ること。

- a 構図
- b カメラアングルやカメラポジション
- c 色光や視点
- d 発色や立体感

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術II 2 内容 A 表現」の一部を抜粋したものである。文中の(②)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

(ア) 自然や自己, (②)などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。

- a 自己の体験や実感
- b 夢やあこがれ
- c 社会
- d 対象

- 3 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 2 内容〔共通事項〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。
- |   |
|---|
| オ |
|---|

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(中略)

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、（ ① ）などで捉えることを理解すること。

- a 造形の要素の働き
- b 様式
- c 感情
- d 知識

## 【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の表は、令和4年12月13日に文部科学省により示された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」に関するものである。

(1) 小学校・中学校の「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

<小学校・中学校>

	推定値
学習面又は行動面で著しい困難を示す	<input type="text" value="ア"/> %

a 4.6    b 6.5    c 7.3    d 8.8    e 10.3

(2) 学校種別ごとの「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、～に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

	学習面又は行動面で著しい困難を示す	推定値		
		A	B	C
小学校	<input type="text" value="イ"/> %	7.8%	4.7%	2.0%
中学校	<input type="text" value="ウ"/> %	3.7%	2.6%	1.1%
高等学校	<input type="text" value="エ"/> %	1.3%	1.0%	0.5%

※A：「学習面で著しい困難を示す」、B：「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す、C：「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す」

a 0.9    b 2.2    c 5.6    d 8.2    e 10.4

- 2 次の文は、令和5年3月に文部科学省より示された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について（通知）」の一部である。文中の  ～  に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

この度、文部科学省の下に設置された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」において、令和5年3月13日に報告が取りまとめられました。

(中略)

具体的には、

- ・校長のリーダーシップの下、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための  を充実させること
- ・児童生徒が慣れた環境で安心して通級による指導を受けられるように  や巡回指導をはじめとする通級による指導を充実させること
- ・通級による指導を担当する教師等の専門性の向上を図ること
- ・高等学校における通級による指導の実施体制を充実させること
- ・特別支援教育に関する専門的な知見や経験等を有する特別支援学校における小中高等学校等への指導助言等の  を充実させること
- ・よりインクルーシブで多様な教育的ニーズに柔軟に対応するため、特別支援学校を含めた2校以上の学校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルを創設すること

などについて提言されています。

a 多様な学びの場                      b カリキュラム・マネジメント  
c 学校運営協議会                      d 校内支援体制

a グループ別指導                      b 自校通級  
c 他校通級                              d 個別指導

a カウンセリング機能                  b 一貫した支援  
c 継続的な支援                          d センターの機能



- 3 次の文は、特別支援学校学習指導要領解説（平成30年3月）各教科等編（小学部・中学部）第4章 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科 第2節 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について 3 指導の形態についての記述の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、 の流れに即して学んでいくことが効果的であることから、従前から、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。

各教科等を合わせて指導を行うことに係る法的な根拠は、 第130条第2項に、特別支援学校において「知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳科、, 特別活動及び自立活動の について、合わせて授業を行うことができる」とされていることである。

- a 発達や指導                      b 興味や関心                      c 学習や生活  
d 指導計画や内容

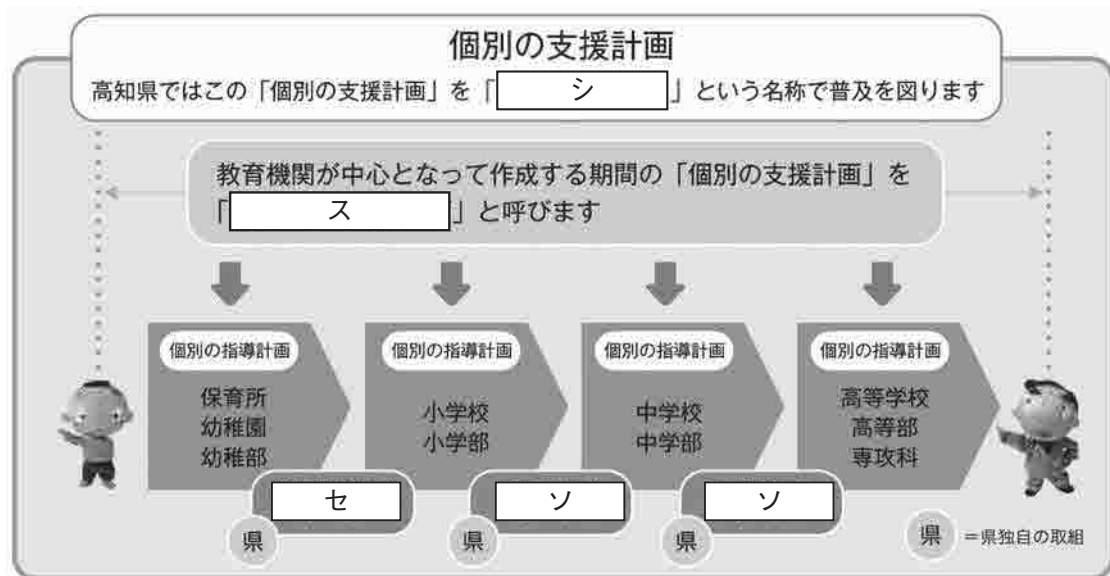
- a 教育基本法                      b 地方公務員法                      c 学校教育法施行令  
d 学校教育法施行規則

- a 外国語活動                      b 学級活動                      c 総合的な学習の時間  
d 総合的な探究の時間

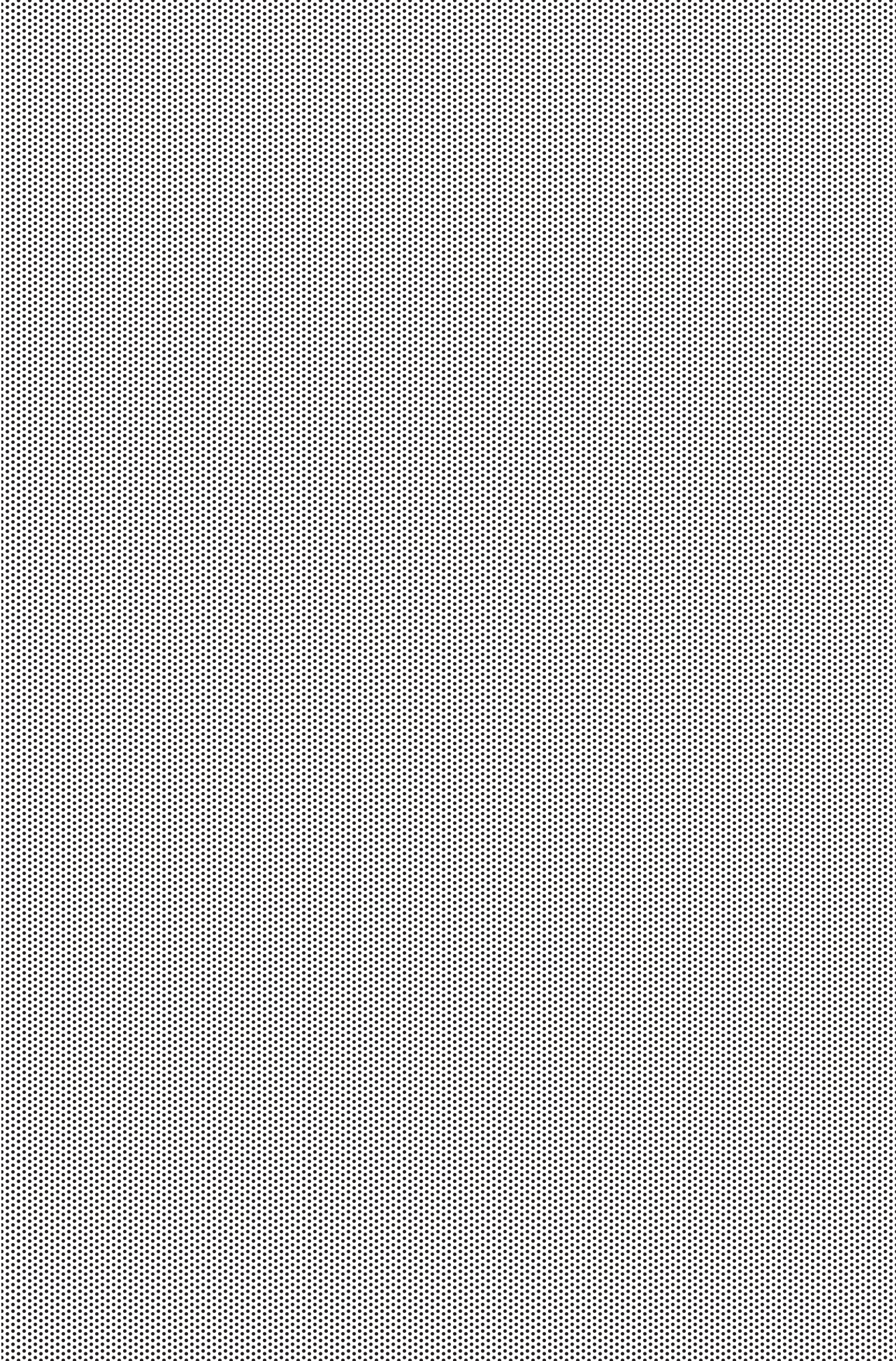
- a 全部又は一部                      b 全部                      c 一部  
d 特に示す部分

- 4 高知県教育委員会で作成した「高知県の特別支援教育 すべての子どもが輝くために」では、特別な支援を必要とする子どもたちへの切れ目のない支援を実現する仕組みとして次の図を示している。

図中の  ～  に当てはまる語句を、下の1～7から一つずつ選びなさい。



- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 個別の教育支援計画 | 2 個別の移行支援計画  | 3 アセスメントシート  |
| 4 つながるノート   | 5 就学時引き継ぎシート | 6 キャリア・パスポート |
| 7 支援引き継ぎシート |              |              |



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号  と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の  b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 第5問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 7 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

